



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノーリツ

コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 金田 友三郎

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日

平成26年9月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	107,944	19.4	4,023	5.4	4,646	4.1	1,607	△49.2
25年12月期第2四半期	90,423	1.2	3,816	3.2	4,464	8.2	3,165	18.4

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 531百万円 (△93.5%) 25年12月期第2四半期 8,157百万円 (149.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	33.62	—
25年12月期第2四半期	66.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	184,989	57.7	109,485	57.7	—	—
25年12月期	191,324	55.8	109,673	55.8	—	—

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 106,661百万円 25年12月期 106,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年12月期	—	15.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	9.8	10,500	8.6	11,200	1.3	5,800	△9.2	121.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	50,797,651 株	25年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	2,979,712 株	25年12月期	2,978,759 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	47,818,398 株	25年12月期2Q	47,820,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、金融政策等を背景として緩やかな回復基調が継続し、企業収益の向上や雇用環境の改善が進んでおります。しかし、本年4月以降は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費の低下や企業による設備投資の伸びが鈍化するなど、景気は一時的な停滞局面に陥りました。また、海外においても、中国など新興国の経済成長鈍化や東欧・中東での紛争拡大懸念など不安定な要素を抱え、景気の先行きは不透明な状況下にあります。

国内住宅設備業界におきましては、駆け込み需要の反動等により新築住宅着工戸数が前年を下回るなど厳しい環境となりましたが、取り替え需要は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「Vプラン16」に基づき、国内・海外の両事業にて業績拡大を図るため、成長事業の育成やコスト競争力の強化などを重点課題として、高効率給湯器、太陽光発電システム、コージェネレーションシステムなどの拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,079億44百万円（前年同期比19.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が40億23百万円（同5.4%増）、経常利益が46億46百万円（同4.1%増）、四半期純利益は製品事故処理費用として特別損失を計上したこと等により16億7百万円（同49.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第2四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が875億78百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益が30億74百万円（同8.0%増）となりました。

温水空調分野では、変動する国内住宅需要への着実な対応により、給湯器の販売台数が伸びました。環境配慮商品の事実上の標準化が進み、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」などの潜熱回収型給湯器の販売が引き続き好調で売上高増加に大きく寄与いたしました。

厨房分野では、商品ブランド統一に向けた全社的な取り組みや本年3月発売の新商品効果もあり、ガスビルトインコンロの販売台数が好調に推移いたしました。また、コンロとのセット提案を進めるレンジフードも販売台数を伸ばしました。

新エネルギー分野では、取扱店の拡大や他分野商品とのセット提案などの営業政策に加え、新エネルギー関連の商品を標準装備した住宅が徐々に拡大していることなどもあり、太陽光発電システムを中心に販売を伸ばしました。

住設システム分野では、ジャストリフォーム対応ができるシステムキッチン「ベスト」、おそうじ浴槽が好評なシステムバス「ユパティオV」及び新デザインの陶器製ボウルを採用した洗面化粧台「シャンピーヌ」が好調で、システムキッチン、システムバス、洗面化粧台の各販売台数は前年同期を上回りました。

② 海外事業

当第2四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が255億43百万円（同100.1%増）、セグメント利益が9億49百万円（同2.0%減）となりました。中国では、引き続き政府の不動産価格抑制策の影響を受けているものの、能率(中国)投資有限公司は上海市以外への販売エリア拡大や新規チャネル開拓などにより増収増益となりました。また、前第4四半期から連結しました櫻花衛厨(中国)股份有限公司は例年、季節的要因により売上高が下期に大きく増加するため、当第2四半期連結累計期間においてセグメント利益の減益要因となっておりますが、当初の計画通り推移しております。米国では、経済環境の好転などを背景に環境配慮商品の販売が伸び、売上高は増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,849億89百万円（前連結会計年度末比63億34百万円減）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,052億51百万円（同57億89百万円減）となりました。また、固定資産は有形固定資産が減少したこと等により797億38百万円（同5億45百万円減）となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により755億4百万円（同61億46百万円減）となり、少数株主持分を含めた純資産につきましては1,094億85百万円（同1億88百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は57.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は321億83百万円と前連結会計年度末に比べ52億47百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得た資金は127億82百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益26億5百万円、減価償却費30億27百万円および売上債権の減少額90億72百万円等による資金の増加、仕入債務の減少額26億86百万円および法人税等の支払額16億24百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は47億82百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出37億48百万円、有価証券の取得による支出5億3百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は20億23百万円となりました。これは主に短期借入金の純減少額による支出12億67百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月10日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成26年8月5日)公表いたしました「特別損失の計上及び平成26年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,090	32,359
受取手形及び売掛金	59,343	49,044
有価証券	620	1,117
たな卸資産	16,454	17,338
その他	7,768	5,606
貸倒引当金	△235	△215
流動資産合計	111,041	105,251
固定資産		
有形固定資産	35,121	34,688
無形固定資産		
のれん	6,834	6,231
その他	3,536	4,056
無形固定資産合計	10,371	10,287
投資その他の資産		
投資有価証券	29,528	29,551
その他	6,174	6,141
貸倒引当金	△911	△930
投資その他の資産合計	34,790	34,761
固定資産合計	80,283	79,738
資産合計	191,324	184,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,937	37,134
短期借入金	3,182	1,800
未払法人税等	1,619	1,142
賞与引当金	2,016	1,213
役員賞与引当金	42	12
製品保証引当金	1,007	971
製品事故処理費用引当金	21	1,873
その他	18,149	16,014
流動負債合計	66,976	60,160
固定負債		
退職給付引当金	8,733	8,867
役員退職慰労引当金	45	50
製品保証引当金	771	908
その他	5,124	5,516
固定負債合計	14,674	15,343
負債合計	81,651	75,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	58,539	59,429
自己株式	△5,084	△5,086
株主資本合計	96,579	97,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,265	7,836
繰延ヘッジ損益	3	△153
為替換算調整勘定	2,834	1,510
その他の包括利益累計額合計	10,103	9,193
少数株主持分	2,990	2,823
純資産合計	109,673	109,485
負債純資産合計	191,324	184,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	90,423	107,944
売上原価	63,796	74,338
売上総利益	26,627	33,605
販売費及び一般管理費	22,810	29,581
営業利益	3,816	4,023
営業外収益		
受取利息	128	158
受取配当金	223	223
受取賃貸料	76	71
為替差益	219	—
その他	197	368
営業外収益合計	845	822
営業外費用		
支払利息	13	15
固定資産賃貸費用	52	50
為替差損	—	47
その他	132	86
営業外費用合計	198	200
経常利益	4,464	4,646
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25
固定資産売却益	—	55
特別利益合計	—	81
特別損失		
固定資産処分損	73	85
減損損失	—	67
退職給付費用	259	—
製品事故処理費用	—	1,944
環境対策費用	—	24
特別損失合計	332	2,122
税金等調整前四半期純利益	4,131	2,605
法人税、住民税及び事業税	1,002	1,230
法人税等調整額	△37	△257
法人税等合計	965	972
少数株主損益調整前四半期純利益	3,166	1,632
少数株主利益	0	25
四半期純利益	3,165	1,607

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,166	1,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,804	571
繰延ヘッジ損益	△5	△156
為替換算調整勘定	1,192	△1,516
その他の包括利益合計	4,990	△1,101
四半期包括利益	8,157	531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,156	698
少数株主に係る四半期包括利益	0	△167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,131	2,605
減価償却費	2,495	3,027
売上債権の増減額 (△は増加)	8,029	9,072
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,075	△1,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,120	△2,686
法人税等の支払額	△2,117	△1,624
その他	△133	3,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,209	12,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△53
定期預金の払戻による収入	1,000	30
有価証券の取得による支出	△402	△503
有価証券の売却及び償還による収入	813	336
有形固定資産の取得による支出	△3,624	△3,748
その他	△859	△844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,073	△4,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95	△1,267
配当金の支払額	△764	△717
その他	△32	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△893	△2,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	507	△729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,750	5,247
現金及び現金同等物の期首残高	26,765	26,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,516	32,183

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,101	10,322	90,423	—	90,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,370	2,441	4,811	(4,811)	—
計	82,471	12,763	95,235	(4,811)	90,423
セグメント利益	2,847	969	3,816	—	3,816

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,665	23,278	107,944	—	107,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,912	2,265	5,177	(5,177)	—
計	87,578	25,543	113,122	(5,177)	107,944
セグメント利益	3,074	949	4,023	—	4,023

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。